



みんなの家みんなのお便り

みんなか通信 冬号 NO.6

誰もが「ただいま」といえる家

児童養護施設退所者ならびに生活困窮にある若者の自立支援の居場所づくり

新年を迎え、今年もみんなかをよろしくお祈いします！



※写真は、「お風呂沸かします。」と
いって、薪割り・火の番をして
いるところです。

体験滞在

10月末から、11月初旬にかけて、東京から20代のSさんが体験滞在にやってきました。Sさんは、みんなの公式 Twitter から、みんなに興味をもって、自分から連絡してくれました。滞在中は、静かな自然環境の中で、ぐっすり眠ることができ、体調が良かったそうです。集落を散歩したり、外で読書をしたりと、落ち着いて過ごすことができ、私たちも見守っていて安心しました。最終日には、体験滞在の振り返りの時間をしました。Sさんからは、滞在しての感想、みんなの活動についての意見、同じ境遇の若者が置かれている状況などを精一杯話してもらい、今後の取り組みにつながる貴重な意見をいただきました。体験滞在は終了しましたが、Sさんにとって、いつでも休息できる場の一つ、「ただいま」といえる家になれるように、今も連絡を取り合っています。

畑の整備

みんなの畑は、栽培により人体や自然環境に負荷がかからないように、有機栽培を行っています。新しい畑はかつて田んぼだった畑で土も固いため、どのように整備したらよいのか、自然栽培の専門家に相談しています。

12月には、みんなの活動に賛同していただいた人たちの思いがあって、自然栽培を行うための圃場づくりや土作りのワークショップを開催していただきました。食べ物を少しでも自分で作れるようになることは、生きるため不可欠なスキルになります。職業として農作業に関心をもつ若者もいるかもしれません。若者によっては、朝陽を浴び、植物や土に触れることで、生活リズムが調ったり、心の回復にも繋がったりすることでしょう。また、この地域では、今も物々交換やお裾分けの文化が残っていて、日常的に農作物をいただいたり、何かのお礼に農作物を渡したりと、山間部での生活において、地域の方々との関係づくりにもつながります。



社会的養護事業に関する学び合いにオンライン参加

12月19日 JANPIA (一般財団法人 日本民間公益活動連携機構) 主催による施設退所者などを支援する休眠預金等活用実行団との学び合いに参加させていただきました。全国から4つの実行団体・それを支える3つの資金配分団体が参加し、各団体がどのような目的でどんな活動をしているのかを情報交換することができました。スタッフの確保や育成の具体的な取り組み、若者と関りなど、みんなの今後の活動において学ばせていただきました。みんなの体制づくりに活かしたいと思います。



森のようちえん

高木地区以外の人々との新しい地縁を広げていくことを目的に、月1回の「おさんぽ会 (森のようちえん)」を開催しています。11月のおさんぽ会は、里芋掘り&焼き芋会をしました。里芋掘りは珍しいので、保護者の方々も「里芋って、この様に実が成るのですね。」と驚かれました。同じ集落の方々の協力もあり、美味しい里芋の焼き芋ができました。

みんなに体験滞在に訪れた若者にも、事前準備を手伝ってもらいました。おさんぽ会を開催することは、若者にとっても、人と関わることで、人生観が広がったり、深まったりする貴重な機会であり、大切な環境整備の一つと考えています。





みんかでの生活

冬の時期は、何かとあわただしくなります。

みんかのある高木地区では、色々な行事があります。一つひとつが地域の人との交流の場です。高齢化していく中で、続けていけるように、守っていけるように、できるだけ参加し、協力しています。

○ほし柿づくり：

ご近所さんと一緒に、皮をむいて作りました。おいしくなあれ。

○かんもどり：

出雲大社から地元にもどられる神様を、火を焚いてお迎えする行事。

○雪景色：

高木は今年も雪が積もりました。数日間の雪景色もこの時だけの楽しみです。

○しめ縄かざり：

集落のみんなで、新しいしめ縄などを作り、近くのお宮などにお飾りします。

○年越し～初詣：

高木神社では、大晦日から火を囲みながら、地域の方たちと新年を迎えます。

○鬼火炊き：

今年も地域の皆さんと一年間の無病息災を祈って、大きな火を囲みました。

「みんなの家 みんか」の活動

2022年の活動報告

本みんか建設にむけて、予定地の旧家屋の解体や具体的な設計協議を始めました。本みんか用にと、いただいていた古材を、どのように活用するか、福岡県内各地の方に協力いただき、古材の採寸を行ったり、一つずつですが、準備を進めています。

また、みんかを必要としている若者との接点づくりとして SNS の活動を始めました。現在は、Twitter や HP のブログを中心に、日々の生活やみんかのコンセプトに関わる内容を発信しています。京から二人の女性も体験滞在してくれ、「来てよかった。」との評価をしてくださいました。みんなの家として迎え入れる私たちにとっても、学ぶことが多い年となりました。

2023年の活動予定

休眠預金活用事業として3年目(最終年)に入ります。今年、いよいよ着工の年となります。何度も何度も見直した設計も、やっとカタチになっていきます。

併せて、みんかについて、その存在と目的を伝えていく活動にも力を入れていく予定です。まずは、知ってもらい、問い合わせてもらって、訪れてもらうことが、みんかを必要としている人の力になれる存在になっていくと思っています。いろいろと整備しなければならないことがありますが、みなさんの力を借りながら、整えていきたいと思えます。

お知らせ

2023年3月21日13:00より福岡県久留米市内にて、事業報告会を開催いたします。休眠預金等活用事業として2年目の活動を振り返り、最終年度の計画やその後の事業についてご報告させていただきます。

オンラインでの配信も予定されており、事前登録によりどなたでも参加できます。詳細は、みんか HP などで、告知いたしますので、ご興味ある方は、是非、ご参加ください。



編集後記

今年の冬は、予報通りに冷え込みました。薪ストーブも大活躍で、薪の消費も多くなりました。ちょこちょと、時間を作っては、薪割り・古い薪の整理をして燃料にしています。

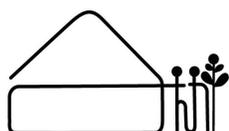
火というのは、人の心を癒す効果があるといわれますね。火の揺らめき、温かさ。人は本能的に感じるものがあるのでしょうか。この時期、みんかを訪れた人は、薪ストーブの炎に、つつい引き寄せられているように思います。冬至を過ぎ、寒い冬ももう少し。あたたかい春が待ち遠しいですね。

一般社団法人 みんなの家みんか

代表理事：師岡 知弘
住所：838-0072 福岡県朝倉市黒川1762-2
TEL:090-9705-4406
Email: info@37minka.com
HP: https://37minka.com



↑HPはこちら



みんなの家
みんか
休眠預金等活用事業



← 公式Twitter
こちらから

公式LINE
こちらから →

お友達追加してね!

